

2019年度日本ジオパークネットワーク事業報告

2019年5月1日～2020年4月30日

1. 事業概要

(1) 組織の現状及び推進体制について

① 会員加盟状況

2019年度は新規の日本ジオパーク認定はなく、天草（正会員）と月山（準会員）の2地域が2020年3月31日に退会した。これにより、日本ジオパークに認定された正会員は43地域（世界ジオパーク9地域を含む）、日本ジオパークを目指す準会員は14地域となり、JGNは57地域（188市町村）によって構成されている（2020年4月30日現在）。

② 事務局体制

JGN事務局は、正職員1名（事務局次長：総括）、臨時職員2名をJGNとして雇用しており、事務局長1名（糸魚川）、研修派遣職員1名（下北）、業務支援職員1名（ゆざわ）を合わせ6人体制となっている。このほかに、島原半島（三陸）、隠岐、Mine秋吉台、下北の4地域から各1名が事務局次長：業務担当として、また白山手取川、アポイ岳の2地域から各1名が事務局員として、それぞれネットワークの主体として事務局機能を担っている状況である。

③ 財政状況

2019年度はジオパーク活動の更なる展開のため繰越金からの繰入を予定していたが、事業費の抑制や各地域との連携事業などにより若干の繰越金を残せる結果となった。

(2) 重点事業について

① ステークホルダーの巻き込みによる事業連携

民間企業や各種団体との連携事業として、航空機内等での映像配信、情報誌やウェブサイトでの情報発信、ラジオ番組での地域紹介を行った。また、食をテーマとしたイベントでは、ジオパークアンバサダー養成事業と位置づけを明確にしたうえで隠岐ジオパークと連携実施し、各地域で活用できる事業モデルを構築した。本事業ではさらに、JGNからの委託実績のある通訳ガイド関係者に対しても箱根ジオパークとの連携によりガイド養成講座（オンライン講座）を開催しており、参加者は今後ジオパークアンバサダーとしての活躍が期待できるものとなった。

② 人材育成のための活動強化

ジオパーク活動や地域を支える人材育成、さらには社会一般の地球科学リテラシー向上を目指し、ジオパーク活動を学びの場とするため、

特に参加者数の数値目標を設けるなど数にこだわって事業を実施した。

③SDGsによるネットワーク活動強化

SDGs（持続可能な開発目標）に重点を置き、国内外におけるジオパークの普及活動を継続してきた。APGN シンポジウム（インドネシア）でのブース出展や海外の活動支援を行いながら、GGN 及び APGN など関係機関との情報共有を図った。さらに、前年度に引き続きタイでの共同ワークショップを開催した。これらの成果により人的な交流が拡大しジオパークがない地域への普及に貢献するとともに、日本ジオパークネットワークの存在を広くアピールできた。

(3) その他の事業について

①普及啓発に関する事業

各地域におけるイベント情報などを JGN として取りまとめ発信するため、新たなウェブページ「ジオゴト (Geo Go To)」を構築した。今年度初めて実施したジオパークガイド調査には各地域から 258 人の回答があり、現状と課題に関する概要を把握することができた。第 10 回の記念大会となった全国大会大分大会では、各方面への働きかけも行き、延べ 5,113 人の参加となった。

②情報収集発信に関する事業

ジオパークマガジンの編集にあたり日本地質学会発行の「ジオルジュ」との連携を調整してきたが、年度内の成果につなげることができなかった。

日本ジオパークネットワーク 10 周年記念誌は全国大会時の参加記念品として配布するとともに、各地域から購入してもらうことができた。

③活動支援に関する事業

ジオツアーの商品化について、各地域のツアーを取りまとめリーフレットとして印刷するように編集作業を進めてきたが、提出されたツアーについて各地域への確認や調整に時間がかかり年度内の成果につなげることができなかった。

今後のジオパーク活動のあり方を検討するため外部有識者による組織検討会議を 3 月 16 日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度の開催を断念した。

JGN 役員による要望活動についても 4 月 22 日に計画していたが中止となった。

④認定審査に関する事業

認定審査における各地域から審査員等に対する意見を事務局で取りまとめることとし、審査の信頼性を高めることとした。

⑤その他目的を達成するために必要となる事業

新型コロナウイルス感染症拡大により全都道府県に緊急事態宣言が発せられ、外出の自粛が強く求められることとなった。「こんな時だからこそ、ネットワークだからこそ」と各地域にデジタルコンテンツの発信を呼びかけ、ウェブサイト上に「おうちでジオパーク」を提供し、「STAY HOME」への取り組みを行った。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容（単位：円）	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者人数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費 (単位：千円)
①普及啓発に関する事業	普及啓発用広報物作成 ・リーフレット 312,400-、紹介映像作成 1,099,890- ・日本地質学会フォトコンテスト協賛 30,000- ・消耗品（ストラップ） 26,838-、支払手数料 1,742-	(A)2019.5~4 (B)東京ほか (C)20人	(D)不特定多数 (E)-	1,471
	ウェブサイト管理 ・ウェブサイト管理 438,345-、支払手数料 440- ・イベントサイト制作管理「ジオゴト (Geo Go To)」 396,000-	(A)2019.5~4 (B)東京 (C)20人	(D)不特定多数 (E)-	835
	各種調査活動 ・活動状況調査 2019 ウェブ調査委託 688,600-、支払手数料 440- ・ガイド調査、国県補助金調査 2019 ・人件費(10%)749,727-、旅費交通費(10%)47,452-、 事務所費(10%)383,792-	(A)2019.6~2 (B)東京ほか (C)60人	(D)不特定多数 (E)-	1,870
	ジオパークイベント ・サイエンスアゴラ等標本づくりイベント 217,115- ・APGN シンポジウム 45,700- ・防災科研成果発表会 57,060- ・ブロック会議等 134,690-、支払手数料 982-	(A)2019.5~3 (B)各地 (C)60人	(D)不特定多数 (E)-	456

	<p>大会及び研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会負担金 200,000-、旅費等 1,125,283- ・全国研修会等会議費、旅費等 33,680- ・通信運搬費 8,110-、消耗品費 51,160-、支払手数料 2,416-、雑役務費 7,700- 	<p>(A)2019.5~3 (B)大分市ほか (C)100人</p>	<p>(D)不特定多数 (E)-</p>	<p>1,428</p>
	<p>アンバサダー養成事業（ジオフードプロジェクト）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライター、プロガー …地域食材+ジオストーリー+現地ツアー（隠岐 GP） 328,900- ・通訳ガイド …アンバサダー養成講座（箱根 GP）旅費 9,780- ・支払手数料 660- 	<p>(A)2019.5~4 (B)東京 (C)60人</p>	<p>(D)不特定多数 (E)-</p>	<p>339</p>
②情報収集発信に関する事業	<p>協賛会員募集活動（オフィシャルスポンサー募集）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G72 研修参加 10,000- 	<p>(A)2019.12 (B)東京 (C)5人</p>	<p>(D)不特定多数 (E)-</p>	<p>10</p>
	<p>ジオパークマガジン（Vol.7 13,000冊）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・編集印刷製本委託 4,071,100-、貯蔵品△637,894- ・業務委託費（在庫販売） 8,680-、宣伝広告費（贈呈） 345,988- ・運送料 230,994-、租税公課 2,000-、支払手数料 1,312- ・人件費(40%)2,998,908-、旅費交通費(40%)189,808-、事務所費(40%)1,535,167- 	<p>(A)2019.7~3 (B)東京ほか (C)60人</p>	<p>(D)不特定多数 (E)-</p>	<p>8,746</p>
	<p>JGN 設立 10 周年記念事業（記念誌 2,000 部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作印刷委託 741,400-、貯蔵品△177,000- ・取材旅費 42,180-、謝金 60,000-、交通費 1,200-、運搬料 37,963-、支払手数料 880- ・人件費(10%)749,727-、旅費交通費(10%)47,452-、事務所費(10%)383,792- 	<p>(A)2019.5~11 (B)東京ほか (C)60人</p>	<p>(D)不特定多数 (E)-</p>	<p>1,888</p>

	ジオパーク関連商品開発等【実施なし】 ・企画提案募集等	(A)－ (B)－ (C)－	(D)－ (E)－	－
③活動支援に関する事業	地域支援活動 ・SDGs&ESD活動 旅費等 350,227- ・国際連携活動 旅費等 653,696- ・ジオツアー商品化等 印刷費等 99,440- ・被災地支援 旅費等 59,000-	(A)2019.5~3 (B)東京ほか (C)60人	(D)不特定多数 (E)－	1,162
	組織検討会議【3/16 実施予定：COVID-19により中止】 ・会場費、旅費等	(A)－ (B)－ (C)－	(D)－ (E)－	－
	各種要望活動【4/22 実施予定：COVID-19により中止】 ・会議費等	(A)－ (B)－ (C)－	(D)－ (E)－	－
④認定審査に関する事業	認定審査支援事業（JGN主体） ・天草ヒアリング旅費 125,762-、支払手数料 216- ・共通事業按分 1,656,228- ・人件費(20%)1,499,454-、旅費交通費(20%)94,904-、 事務所費(20%)767,583-	(A)2019.5~4 (B)東京ほか (C)100人	(D)不特定多数 (E)－	4,144
	日本ユネスコ国内委員会委託事業（JpNatCom 委託 6,300,000-） ・業務委託 360,000-、旅費等 518,408- ・共通事業按分 1,656,227- ・人件費（事業割当） 3,524,420-	(A)2019.5~3 (B)東京ほか (C)100人	(D)不特定多数 (E)－	6,059

⑤その他目的を達成するために必要な事業	新型コロナウイルス感染症への対応 ・デジタルコンテンツ取りまとめ・発信	(A)2020.4 (B)東京ほか (C)60人	(D)不特定多数 (E)－	－
---------------------	--	--------------------------------	------------------	---

参考：管理費（単位：円）

- ・事業費配賦の person 費 1,499,454-は、正職員 1 人+臨時職員 2 人 11,021,690-から JpNatCom 委託事業割当 person 費 3,524,420-を除く 20%分
- ・事業費配賦の旅費交通費 94,904-は、事務局通勤費 474,520-の 20%分
- ・事業費配賦の事務所費 767,583-は、事務所賃借料+電気・水道+電話・通信+複合機 3,837,917-の 20%分
- ・管理費の person 費 5,708,210-は、糸魚川市 person 費負担金 3,500,000-、法定福利費 1,874,862-、福利厚生費 333,348-
- ・その他経費 2,180,956-は、業務委託費 369,431-、諸謝金 23,000-、会議費 137,791-、旅費交通費 678,416-、通信運搬費 63,083-、消耗品費 418,409-、事務所費 383,640-、諸会費 60,000-、研修費 25,350-、租税公課 600-、支払手数料 21,236-

2019年度 活動計算書

2019年5月1日から2020年4月30日まで

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	17,600,000	
準会員受取会費	3,000,000	20,600,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	335,102	335,102
3 受取助成金等		
受取補助金	1,891,863	1,891,863
4 事業収益		
1普及啓発に関する事業	349,480	
2情報収集発信に関する事業	7,782,000	
3活動支援に関する事業	94,000	
4認定審査に関する事業	8,892,000	
5その他目的を達するために必要な事業	0	17,117,480
5 その他収益		
受取利息	187	
雑収益	0	187
経常収益計		39,944,632
II 経常費用		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当	9,522,236	
人件費計	9,522,236	
(2)その他経費		
業務委託費(事業)	7,630,421	
諸謝金(事業)	330,000	
宣伝広告費(事業)	624,988	
会議費(事業)	918,365	
旅費交通費(事業)	5,513,661	
通信運搬費(事業)	277,067	
消耗品費(事業)	168,975	
事務所費(事業)	3,070,334	
租税公課(事業)	2,000	
研修費(事業)	311,000	
支払手数料(事業)	31,377	
雑役務費(事業)	7,700	
その他経費計	18,885,888	
事業費計		28,408,124
2 管理費		
(1)人件費		
給料手当	4,999,454	
法定福利費	1,874,862	
福利厚生費	333,348	
人件費計	7,207,664	
(2)その他経費		
業務委託費	369,431	
諸謝金	23,000	
会議費	137,791	
旅費交通費	773,320	
通信運搬費	63,083	
消耗品費	418,409	
事務所費	1,151,223	
諸会費	60,000	
租税公課	25,350	
支払手数料	600	
雑費	21,236	
その他経費計	3,043,443	
管理費計		10,251,107
経常費用計		38,659,231
当期経常増減額		1,285,401
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		1,285,401
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		1,215,401
前期繰越正味財産額		21,634,834
次期繰越正味財産額		22,850,235

貸借対照表

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク
全事業所

【税込】(単位:円)
2020年 4月30日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
小口 現金	15,534		
普通 預金	20,588,264		
現金・預金 計	<u>20,603,798</u>		
(棚卸資産)			
貯 蔵 品	1,428,868		
棚卸資産 計	<u>1,428,868</u>		
(その他流動資産)			
未 収 金	383,900		
前払 費用	50,400		
その他流動資産 計	<u>434,300</u>		
流動資産合計		22,466,966	
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
保 証 金	914,288		
投資その他の資産 計	<u>914,288</u>		
固定資産合計		<u>914,288</u>	
資産の部 合計			<u>23,381,254</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
未 払 金	203,610		
預 り 金	257,409		
未払法人税等	70,000		
流動負債 計	<u>531,019</u>		
負債の部 合計			531,019
		《正味財産の部》	
【正味財産】			
前期繰越正味財産額	21,634,834		
当期正味財産増減額	<u>1,215,401</u>		
正味財産 計		<u>22,850,235</u>	
正味財産の部 合計			<u>22,850,235</u>
負債・正味財産合計			<u>23,381,254</u>

2019年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

【重要な会計方針】

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業別損益の状況】

事業別損益の状況は以下の通りです。

科 目	①普及啓発に関する事業	②情報収集発信に関する事業	③活動支援に関する事業	④認定審査に関する事業	⑤その他目的を達するために必要な事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	0	0	0	20,600,000	20,600,000
2. 受取寄付金	335,102	0	0	0	0	335,102	0	335,102
3. 受取助成金等	0	0	0	0	0	0	1,891,863	1,891,863
4. 事業収益	349,480	7,782,000	94,000	8,892,000	0	17,117,480	0	17,117,480
5. その他収益	0	0	0	0	0	0	187	187
経常収益計	684,582	7,782,000	94,000	8,892,000	0	17,452,582	22,492,050	39,944,632
II 経常費用								
1. 人件費								
給料 手当	749,727	3,748,635	0	5,023,874	0	9,522,236	4,999,454	14,521,690
法定福利費					0	0	1,874,862	1,874,862
福利厚生費					0	0	333,348	333,348
人件費計	749,727	3,748,635	0	5,023,874	0	9,522,236	7,207,664	16,729,900
2. その他経費								
業務委託費	3,264,135	4,006,286	0	360,000	0	7,630,421	369,431	7,999,852
諸 謝 金	0	60,000	100,000	170,000	0	330,000	23,000	353,000
宣伝広告費	158,000	345,988	121,000	0	0	624,988	0	624,988
会 議 費	200,000	0	0	718,365	0	918,365	137,791	1,056,156
旅費交通費	1,467,515	280,640	630,630	3,134,876	0	5,513,661	773,320	6,286,981
通信運搬費	8,110	268,957	0	0	0	277,067	63,083	340,150
消耗品 費	153,243	0	15,732	0	0	168,975	418,409	587,384
事務所 費	383,792	1,918,959	0	767,583	0	3,070,334	1,151,223	4,221,557
租税 公課		2,000	0	0	0	2,000	600	2,600
保 険 料	0	0	0	0	0	0	0	0
諸 会 費	0	0	0	0	0	0	60,000	60,000
研 修 費	0	10,000	294,000	7,000	0	311,000	25,350	336,350
支払手数料	6,680	2,192	1,001	21,504	0	31,377	21,236	52,613
雑役 務費	7,700	0	0	0	0	7,700	0	7,700
その他経費計	5,649,175	6,895,022	1,162,363	5,179,328	0	18,885,888	3,043,443	21,929,331
経常費用計	6,398,902	10,643,657	1,162,363	10,203,202	0	28,408,124	10,251,107	38,659,231
当期経常増減額	△ 5,714,320	△ 2,861,657	△ 1,068,363	△ 1,311,202	0	△ 10,955,542	12,240,943	1,285,401

【固定資産の増減内訳】

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
投資その他の資産						
保証金	0	914,288	0	914,288	0	914,288
合計	0	914,288	0	914,288	0	914,288

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、給料手当については従事割合に基づき按分しています。事務所費については使用割合に基づき按分しています。

財 産 目 録

特定非営利活動法人日本ゾオパークネットワーク
全事業所

【税込】(単位:円)
2020年 4月30日 現在

		《資産の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
小口 現金	15,534		
普通 預金	20,588,264		
ゆうちょ銀行	(6,176,328)		
三菱UFJ銀行	(14,411,936)		
現金・預金 計	<u>20,603,798</u>		
(棚卸資産)			
貯 蔵 品	1,428,868		
棚卸資産 計	<u>1,428,868</u>		
(その他流動資産)			
未 収 金	383,900		
前払 費用	50,400		
その他流動資産 計	<u>434,300</u>		
流動資産合計		<u>22,466,966</u>	
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
保 証 金	914,288		
投資その他の資産 計	<u>914,288</u>		
固定資産合計		<u>914,288</u>	
資産の部 合計			<u>23,381,254</u>
		《負債の部》	
【流動負債】			
未 払 金	203,610		
預 り 金	257,409		
市民・区民税預り金	(150,500)		
社会保険等預り金	(35,925)		
税金預り金	(70,984)		
未払法人税等	70,000		
流動負債 計		<u>531,019</u>	
負債の部 合計			<u>531,019</u>
正味財産			<u>22,850,235</u>

社員のうち10人以上の者の名簿

2020年4月30日現在

特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	様似町アポイ岳ジオパーク推進協議会 会長 坂下一幸	
2	洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会 会長 真屋敏春	
3	糸魚川ジオパーク協議会 会長 米田 徹	
4	南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会 会長 白鳥 孝	
5	山陰海岸ジオパーク推進協議会 会長 中貝宗治	
6	室戸ジオパーク推進協議会 会長 植田壯一郎	
7	島原半島ジオパーク協議会 会長 古川隆三郎	
8	恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会 会長 山岸正裕	
9	一般社団法人 隠岐ユネスコ 世界ジオパーク推進協議会 理事長 池田高世偉	
10	阿蘇ジオパーク推進協議会 会長 佐藤義興	
11	白滝ジオパーク推進協議会 会長 佐々木修一	
12	伊豆大島ジオパーク推進委員会 会長 三辻利弘	

13	霧島ジオパーク推進連絡協議会 会長 中重 真一	
14	磐梯山ジオパーク協議会 会長 小椋 敏一	
15	ジオパーク下仁田協議会 会長 原 秀男	
16	白山手取川ジオパーク推進協議会 会長 山田 憲昭	
17	秩父まるごとジオパーク推進協議会 会長 久喜 邦康	
18	男鹿半島・大潟ジオパーク推進協議会 会長 菅原 広二	
19	箱根ジオパーク推進協議会 会長 山口 昇士	
20	佐渡ジオパーク推進協議会 会長 渡辺 竜五	
21	銚子ジオパーク推進協議会 会長 越川 信一	
22	伊豆半島ジオパーク推進協議会 会長 菊地 豊	
23	八峰白神ジオパーク推進協議会 会長 森田 新一郎	
24	四国西予ジオパーク推進協議会 会長 管家 一夫	
25	湯沢市ジオパーク推進協議会 会長 鈴木 俊夫	
26	三陸ジオパーク推進協議会 会長 山本 正徳	
27	おおいた姫島ジオパーク推進協議会 会長 藤本 昭夫	

28	おおいた豊後大野ジオパーク推進協議会 会長 川野 文敏
29	三笠ジオパーク推進協議会 会長 西城 賢策
30	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会 会長 森 博幸
31	とがち鹿追ジオパーク推進協議会 会長 喜井 知己
32	南紀熊野ジオパーク推進協議会 会長 仁坂 吉伸
33	一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会 会長 中尾 哲雄
34	苗場山麓ジオパーク振興協議会 会長 桑原 悠
35	Mine秋吉台ジオパーク推進協議会 会長 西岡 晃
36	三島村ジオパーク推進連絡協議会 会長 大山 辰夫
37	栗駒山麓ジオパーク推進協議会 会長 千葉 健司
38	下北ジオパーク推進協議会 会長 宮下 宗一郎
39	筑波山地域ジオパーク推進協議会 会長 五十嵐 立青
40	浅間山ジオパーク推進協議会 会長 熊川 栄
41	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会 会長 市川 雄次
42	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推 進協議会 会長 松浦 正敬

43	萩ジオパーク推進協議会 会長 藤道 健二
44	茨城県北ジオパーク推進協議会 会長 太田 寛行
45	古関東深海盆ジオパーク推進協議会 会長 太田 寛行
46	宮城県 蔵王町 町長 村上 英人
47	飛騨山脈ジオパーク推進協議会 会長 國島 芳明
48	北九州ジオパーク推進連絡会 会長 北橋 健治
49	土佐清水ジオパーク推進協議会 会長 泥谷 光信
50	十勝岳ジオパーク推進協議会 会長 角和 浩幸
51	三宅村 村長 櫻田 昭正
52	東三河ジオパーク構想推進準備会 会長 木和田 治伸
53	那須烏山ジオパーク構想推進協議会 会長 川俣 純子
54	三好ジオパーク構想推進協議会 会長 黒川 征一
55	五島列島ジオパーク推進協議会 会長 野口 市太郎
56	飛騨御嶽山溶岩流ジオパーク認定準備委員会 委員長 熊崎 浩之
57	大雪山カムイミントラジオパーク 構想推進協議会 会長 西川 将人